

日本風力エネルギー学会 2021(令和3)年度 事業計画(案)

(自：2021(令和3)年4月1日 至：2022(令和4)年3月31日)

1. 総会、代表委員会、理事会の開催

- ・年数回の理事会、年1回の代表委員会、総会を開催する。

2. 委員会等の開催

- ・年数回の委員会（企画・運営、編集、学術・事業、国際・広報、表彰、論文）を開催する。

3. 学会誌・論文集の発行（第45巻）

- ・第1号（通巻137号）2021年5月発行 800部
- ・第2号（通巻138号）2021年8月発行 800部
- ・第3号（通巻139号）2021年11月発行 800部
- ・第4号（通巻140号）2022年2月発行 800部

4. 第43回風力エネルギー利用シンポジウムの開催

- ・主催：日本風力エネルギー学会
- ・協賛：日本小形風力発電協会、日本風力発電協会（予定）
- ・後援：産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、新エネルギー財団、ターボ機械協会、日本科学技術振興財団、日本風工学会、日本太陽エネルギー学会、日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会（予定）
- ・開催日：11月18日(木)～19日(金)
- ・開催場所：オンライン開催

5. 見学会の実施

- ・本会主催の見学会を実施予定である。日本風力発電協会（JWPA）と共同実施のウインドデイ活動に当たる。

6. 技術講習会・研究会の開催

- ・風力エネルギーハンドブック研究会：Wind Energy Handbook（第2版）の翻訳である風力エネルギーハンドブックを編集・発刊するとともに、技術講習会を開催する。
- ・ブレード技術研究会を継続するとともに、風車ウェイク研究会、風車運用寿命技術研究会、垂直軸風車空力弾性解析技術研究会の活動を開始する。加えて、研究会の新企画を募集する。

7. 本会に関わる風力関連イベントへの協力

- ・2021年9月29日～10月1日及び2022年3月16日～18日に東京ビッグサイトで開催される第10回と第11回の国際風力発電展には展示ブースの出展など後援団体として協力する。
- ・2022年1月26日～28日に東京ビッグサイトで開催される第16回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラムの推進、並びに同展示会には展示ブースの出展など協賛団体として協力する。

日時	開催場所	イベント名	関係	活動	JWEA 役員の参加
2021年 4/23	オンライン	第1回足利大学風力発電アカデミー	後援		石原理事、荒川代表委員
5月-10月	日本各地	グローバル・ウインドデイ行事 (JWPAと協力して実施)	協力	支援	風車見学会や出前授業、風車工作教室等の活動をサポートする
6/16	オンライン	GWEC 理事会		Web 参加	上田理事が出席予定
6/24-25	オンライン	第21回風力エネルギー利用総合セミナー(足利大学)	後援		
8/4-5	東京都	第30回日本エネルギー学会大会	協賛		主催：日本エネルギー学会
8/13-14	東京都	青少年のための科学の祭典	協力	展示	今村副会長が出席予定

日時	開催場所	イベント名	関係	活動	JWEA 役員の参加
9/29-10/1	東京都	第10回国際風力発電展 WindExpo 2021	後援	展示	
10/7-8	北九州市	北九州市・GWEC 国際洋上風力シンポジウム (Global Offshore Wind Summit)			未定
11月頃	未定	GWEC 理事会		参加	上田理事が出席予定
2022年 1/26~28	東京都	第16回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム	後援	展示	
3/16-18	東京都	第11回国際風力発電展 WindExpo 2022	後援	展示	

*2021年度も COVID-19 流行により多くの催しで、開催自粛が続く見込み。

8. 表彰の実施

- ・ 本会規程に基づき功労賞、学会賞、研究奨励賞、論文賞、優秀発表賞、ポスター賞等の表彰及び学会賞、研究奨励賞の募集を実施する。また、本会が後援するイベント等において、日本風力エネルギー学会特別賞等の表彰を行うとともに、日本学術振興会における各種表彰制度への学会推薦者の募集を行う。
 - ・ 令和3年度総会（5月31日）
 - 功 労 賞：正田剛氏、清野義勝氏
 - 研究奨励賞：菊地由佳氏
 - 論 文 賞：菊地由佳氏ほか、藤本修平氏ほか
 - 優秀発表賞：菊地由佳氏、David Canizalez 氏、渡邊慶一郎氏、長村篤氏、花村真紘氏、深谷侑輝氏
 - ポスター賞：石原孟氏・飯田芳久氏（ベストポスター賞）、内田孝紀氏ほか、川端浩和氏ほか、桐原慎二氏

9. 学会誌、論文集、予稿集を J-STAGE に掲載

- ・ 学会誌及び論文集、シンポジウム予稿集の電子化と J-STAGE での定期的な公開を通じて、本会のプレゼンスを向上するとともに、会員の記事や論文を広く公開することにより、引用数の増加及び業績評価にも貢献する。

10. ホームページの充実

- ・ 本会ホームページの更新、内容の充実を行う。

11. 論文集の充実

- ・ 一般投稿のほか、風力エネルギー利用シンポジウムで座長から推薦された発表論文の著者に投稿依頼することにより、15件程度の投稿を目指す。